日刊 磐城日日

發行所 株式會社 磐城日日新聞社 福島縣小名浜町諸越51 電話219番 振替口座仙台31355番 編集人 高瀬霞 印刷兼發行人 長瀬芳郎

赤の追放を發表
個人別の通達を開始

今や全國的日共並に赤色追放に對し關心が高まりつゝあるが注目の的常磐炭礦もいよ〳〵去る十八日湯本礦支部より發表された

常磐炭礦では十六名程度であるが其他は重内炭礦七名、高萩炭礦四二名、大日本炭礦一八名、壽炭礦三四名古河炭礦二五名、大昭第二炭礦六名、小野田炭礦一五名、山一炭礦九名、荒川炭礦二名、山口炭礦二名、である

なお常磐炭礦では個人別に通達し其れから組合に通告して交渉する意向であるが其の個人別通達は來る廿三日にいよいよ發表される模樣である

生協に受難の秋
內郷礦鮮魚部解散

內郷生活協同組合（組合員一、七〇〇名）は生活必需品の共同購入福祉の增進を目的に活動を續けて來たが、人件費、雜費等の經費問題で四苦八苦していた鮮魚部は（渡邊忠氏）この程解散の憂目にあつた

組合員は目下組合のあり方につき檢討を加えているが自主性に乏しく民主化の薄弱なる現情のままでは如何なる方法で建て直すか解散後の成行が注目されている

青年同志會

湯本町上町青年同志會では一般町民との関係を緊密にし町内の繁榮と發展を圖ると共に社會的認識を高め併せて文化的生活の改善を計るを目的とし、去る十八日午后七時より會長森田一郎氏宅に於て會員十數名が參集し總會後青年會の今後の在り方について討議した

鈴木署長出發

小名浜町警察署長鈴木龍之助氏は二十一日より京都で開催される全國自治警察署長會議に出席のため十九日出発した

列車運轉の改正を促進

勿來、廣野駅間の各現場長會議は二十日午前十時から双葉郡大久村の谷地溫泉で開き種々協議したが特に管理局へ各關係町村長會其の他より陳情提出中の二二二列車の運轉時間改正の件の實現を促進するよう申合せた

小名浜町會 三十日の豫定

小名浜町定例町會は三十日に開催する予定だが主なる審議事項は追加更生予算の決定の件その他

小名濱高校 校歌きまる
いざ歌え希望の学徒

日本の未來を背負い眞理を探究する希望の学徒がつどう小名浜の最高學府、小名濱高等學校では、かねて現代詩人の中堅として名聲高き神保光太郎氏に校歌を依賴していたところこの程、左の通りの優秀なものが出來上つたので目下作曲を準備中である

なお作詞家の神保氏は小名浜高等學校長松原萬氏の母校山形高等学校の二期後輩で、京都大學（元帝大）獨乙文學科を卒業し現在は、日本大學文學部教授で、浦和に在住している現代詩人の逸材として頭角を現わし、既に十二、三の校歌も作つている

福島縣立小名浜高等學校々歌
作詞 神保光太郎

一（男聲）
あふぎ見る 父なる山よ
湯の嶽の 空晴れ渡る
あたらしき 使命の旗よ
君とわれ ここにかざさん
われら われら 希望の學徒

二（女聲）
まどかなり 母なる川よ
藤原の 流れは澄みて
淸らなる 思ひ出の日よ
君とわれ ここに語らん
われら われら 希望の學徒

三（男聲）
名も雄々し 吹松の地よ
堪えて立つ 松のこころよ
ますらをの 決意はかたく
君とわれ ここに鍛えん
われら われら 希望の學徒

四（女聲）
名もやさし 小名が浜邊よ
眞白なる 波のこころよ
うるはしの 理想を胸に
君とわれ ここに契らん
われら われら 希望の学徒

五（混聲）
山は呼ぶ われらこたえん
海はよぶ われらこたえん
あけそむる 日本の未來
大いなる。 眞理の夜あけ
われら われら 希望の学徒

小名浜一校 社會科実習

小名濱町第一小学校五年生三百餘名は先般の漁業會見學に次いで社会科實習のため昨十九日午前十時比佐敎官に引率され日本冷藏株式会社小名濱工場を參觀工場側より經營概要を聽取後、全員冷藏庫内に入つて終始熱心に見學正午歸校した

小名浜第二中學 新築入札
特別委員會で日取決定

第二中學校建築特別委員會では二十日午前九時より第二中學校新築入札に關する説明會を開催したが來る二十六日入札と決定したなお出席者並に指名請負者は次の通り

町会側立会

委員長小野務平、副委員長江尻三睦郎、委員立花秀吉、林林平、坪内清、近藤かね、高木忠治、佐藤貞吾の諸氏

町当局より

馬上土木課長、緑川主事、神山技師、徳永技手、齋藤学務課長

指名請負者

平市 長谷川常吉氏 川和徳一氏 松本榮一氏 鈴木正平氏 强口唯七郎氏

小名濱町 草野道人氏 太田武彦氏 小名浜土木会社 作山安太郎氏 内田建設会社 松原英次郎氏 柳内庄八氏 小原松之助氏 野口榮氏 前澤由五郎氏 深山東八氏

江名町 吉田助五郎氏

湯本町 小林隆三氏

小野氏の所説に反駁す
自由勞組を妨げるもの

浜通地區労働組合小野幸次郎氏に一言御注意申上げたい、去る十三日付磐城日日新聞紙上に於ける氏の失業者救濟に關する御意見が有つた樣でしたが、記事の中には寧ろ救濟どころか却つて當局の心證を傷つけ、失業者を窮地に陷し入れるが如き狀態をひき起す恐れ充分に有りと思う、何故なら…當局の御理解に依り小名川改修工事にも若干乍ら逐日就労者を增員して居り又近く工事に着手する第二中學校整地工事が町直營として全面的に失業者の就労が確定して居る現在、今更何も請負業者との云々と中傷論的に暴き立てるが如き言辭を弄せば、勢い痛くない腹も探られ、その上面倒な直營にせずとも一手に責任を轉嫁せしめ得る請負者に渡した方が良いと云うことになる、その結果萬一請負にでもなれば之等失業者の就勞は當然制限され、吾々の最も希望として居る完全就勞は自から水泡に歸してしまうだろう、ましてや氏の指導すると稱する浜通地區労組に於ける就労狀況（二百五十名云々）には我等小名濱自由労組に籍を置き労務者としての立場から、見たり聞いたりして居る範圍に於いては未だ全然其のような事は無いと思うのである今斯る事業の有無を論じても吾々一片のパンをより多く得られる譯でも無い、誰しもが我田引水は世の常ではあるが相當の人格と識見を有すと自他共に許している小野氏の言動としては何か解せない点が多々あるように思われる希くば最う一歩を讓り素直な氣持ちで当局の好意は好意として受け入れ、事業の上での不正有りと認めた時こそ聲を大にして反省を求め彈劾もし様では無いか、兎に角、要は吾々失業者にとつて迫りくる正月にも、何とかして一人でも多く、一日でも多く働きたい否、働かなければならない時期なのだ余りに當局の心證を害するが如き中傷的言辭は控えて貰いたいのである、當局の理解、好意こそ我々失業者の就労をより一層大ならしめる鍵なのである、その鍵をこわさないよう切にお願いして置きたい、鍵のこわれを待つて侵入しようと爪を研がいて狙つて居る輩も大勢いるのだから！

小名浜自由労組書記長 遠藤充

(盤)(音)(の)(街)

時代の脚光を浴びた海の寵兒の〇〇さんこれを取巻き晝夜の工作に效果を狙う爆彈引揚業者の一名に件われ夜の情緒を味わおうと中通りの酒場から酒場へ酒と女の香はいくつになつても惡るくない、おまけに他人様の懐めあてならなお更御機嫌もよろしく飲んで喰つて最後はカフエー〇〇で桃仙境の夢を見たとか越中褌あてにはならず余りウルサイので相手に嫌がられてブリ〳〵怒つて御歸舘になつたとか、町の雀のウルサイことウルサイこと、さて、さて御本人の正体は、（姓名在社）是非共、艶名をききたいお方は御來社下さい

体育まつり

湯本町では菊花薫る十一月三日文化の日をトし左の通り体育まつりを開催する

一、体育まつり（小学校々庭）
一、美術と寫眞展（高等学校内）
一、寫生品展覧會（小學校内）

貸事務所（電話付）あり
店舖向、貸間にても可
姓名在社

磐城歌壇（三）

精一ぱいの爲事に疲れし歸途に向ふ夜の豫定の重壓があり　小松順一

断崖の際をふまへて堀りくだく五人の人夫吾が眼とらえぬ　鈴木謙四郎

二十日あまり注射に通ふ道の順は街道、山道草土手の道、　中原ジン

窓の灯が池の面まで屆きゐて白くし搖るゝ花は睡蓮　赤石澤義雄

寄せ返す波に漂ふ諸々の芥に青き海草まじる　大内眞留志

長病める君に贈らむと白百合を手折れば露にズボンの濡れぬ　綠川安久

去年よりも二センチ伸びしと弟は柱背にして母に聲かく　鈴木弘道

埋立てを終へし許りの石原に家二軒立ちラヂオを備ふ　浪香生

◉投稿は湯本町天王崎二九 成田灘美宛

二十一日 二十二日 秋季清潔大掃除に犠牲的大奉仕
町内を巡回して皆様の求めに應じ消毒を致します
料金三十圓より
營業種目
室内消毒・煙突掃除
便所消毒・便器清掃
小名浜町定西二七二
福島縣衛生火防協會
鈴木源治

土木建築請負
成瀬巴三
植田町金畑
電話一八番

第三種郵便物認可　昭和25年（1950）10月21日（日曜土）　磐城日日新聞　（日曜日休刊）　新聞定価一ケ月50圓　一部賣2圓

レットパージ

苦情處理もする 正常な組合員は追放せず

十月十七日午後十時より常磐礦業所會議室に於て第二回經營協議會を開催本山労務課長から赤追放の基準提示の文書を組合長に手交して正常な組合活動分子の追放の意志はない、具体的な基準及人員、氏名の發表は再度經營協議會を開いて協議しもし追放者が苦情處理委員會に申出た場合は辯明の機會を與えるが此の問題の處理を永びかせることは人心を不當に動搖せしめる結果ともなるので全國的な申合により今月中に處理したい

現在のところ、二次三次と整理する意志はないが確約する譯には行かない、労働組合のもつ使命に就いては會社も了承しているから今回の該当者中には正常な組合員を該當せしめない事を確約すもし本人が事前に退職を申出た場合は受理する考えである但し、再採用する等の確約は出來兼ねる、自己退職の申出があつた場合には會社の都合による退職として、最高條件の退職手當を支給する

苦情處理委員會は規定として十六日を要することになつているので何かの機関で苦情を聽くが正式苦情處理委員のメンバーを該當者だけに止め度い

次回協議會は二十三日にしたいと會社側より申入したが組合側では意見發表は次回にゆづる旨を答え、レツド、パージ問題最初の經營協議會を打切つた、組合本部では十八日に第二回對策委員會を召集し、十九日には第四回常任委員會を開いたが本部では組合員に對し生活權を擁護するために愼重に愼重を期して本問題に對處して行く旨を傳え、組合員の絶体的な協力を望んでいる

赤の追放に愼重

闘爭方針も協議中

常磐労組某氏の言によれば會社側も愼重を期して居り今だに赤追放者が發表されて居ないといつている、朝日新聞には八十一名とあるが根據不充分と思われ不審の点がある、會社側は個人別に通達し追放となつたものは組合に通知することになつているが組合側は如何なる運動をするか言明をさけている、從つて斗爭方針については九日以來中央委員會は種種の委員會を開催しているが今後の經過は予測されず、いよいよ一般の注目をあつめるようになつた

湯本藝者が踊の温習會

湯本町藝妓屋組合では本町の藝妓は戰後其のまゝの姿であつてはならないと毎月十日間平より花柳さんを招き懸命に踊りのけいこを精進してゐるが中には涙ぐましき努力を續けてゐる藝妓もあるという以下はつた本旅館主で町會議員の高萩氏の談である

下手とか上手とかは別として大した踊りも出來ないでは申譯がない

常磐線唯一の温泉町として東北に誇る常磐炭礦を控えている湯本は、どうしても温泉地として發展して行く爲には觀光施設は勿論サービスの点も改善し外客を誘致し、何とか住みよい明るい町にしたいと考え、微力をつくしたいと思つている

輪禍で左足裂傷

常磐炭礦の乘用車で

常磐炭礦の乘用車運轉手羽田房雄さんは十八日午前十一時二十分頃湯本町上町通りを運轉中同町内下駄商、熊田末治四女カツヨ（三つ）さんを右側車輪でひき倒した、カツヨさんは湯本病院に運ばれたが左足ひざ下を裂傷全治三週間の見込

銅線泥捕わる

石郡郡泉村大字瀧尻一三佐川善見（二八）日素職工は去る八月十三日から十六日の三回に亙り、日素小名濱工場の合成課で作業中、銅線合計十三貫（約二千七百圓相當）を窃取した外三月頃町内飲食店で約二千圓相當の無錢飲食して居た事も判明十日小名浜署に逮捕された

「新版」花咲ぢぢ物語

小名川底にナゾの寶物

関係当局と各議會議員諸氏の御理解と御支援により簡易失業對策事業の枠で小名川改修工事が開始されて早や一ケ月、どうやら十數年振りに川らしい体裁を整えて來たようだ

筆者等の子供の頃は橋の上から飛び込んで水遊びに興じたなつかしい小名川も今回手を入る迄は約四、五尺の泥土が堆積して居たのだから良くも今までほうつて居たものだと思うこの川の改修が完成し兩岸の道路が整つた曉に小名浜の風致區域として川沿いに櫻花を植樹したら、らんまんと咲きほこる春から夏の夕景も見事なものになり新名所としても恥しくないと思う

聞く處によると偉大なる民衆政治家故小野晋平町長の當時すでに本町の將來を卜して雄大なるスケールのもとに一應の計畫ありしとか世代を異にする今日では、其の實現は夢でしかないのだらうか、若しそうだとすれば甚だ殘念なことである

諏訪神社の神域を背景に此のあたりは誠に環境が良く將來の住宅地として最適のように思う

此處の労働者諸君も水中作業が主であり、うかうかすると瀬戸物や硝子のかけらで怪我をし易いので全く眞劍で連日リヤカーやザルを肩にワンサと押しかけも良く計畫線以上に進捗して居るのは愉快である

面白い事には物の豊富な十數年前はやたらに色んなものを投げ捨てたらしく、川底から時々意外なものが引揚げられ泥だらけの労働者の群の中から時々、かん聲が揚る、いわゆる光りものと云うやつである

小名浜沖のバクダン引揚の權利獲得の選にもれた業者?が小名川河川引揚の權利?獲得に連日リヤカーやザルを肩にワンサと押しかけ十圓、二十圓の大金?で屑鐵、硝子ビン等を仕切つて行く、ところが最近どこからともなく特種が入つて來た曰く「終戰当時特攻隊の兵隊さんが二十貫ばかりの銅線を一個だか三個だか川へ捨てた」と云う傳說?である

始めは一、二の労働者が某氏から情報を得て秘密にして居たらしいが、いつとなく時間外にこそ〳〵やる連中が出て來て、お互い全部が其の話を内緒にしていた事が判つて了つた殘念な事には当時の兵隊さんは、すでに誰一人として居ないのだがたしかに見たという人や直接本人から聞いたと云う人が出て來た、新版「ココホレワンワン」ではないが三百米程の限られた距離の川底に問題の光ものが本當にねむつて居るのだろうか、全く氣のもめる話しではあるが、もしも作業能率を考えた地元部落の頭の良い御仁の創作であつたとしたら、全く罪な話だが労働者諸君は正直だから案外此の話を信じて居る者の多いのに驚かされる

希くば私も新版ココホレワンワンが夢でなく實現するのを祈つて居る一人だが……若し揚つたら……ドブ川の中から捕えたスバやどぜうを肴にして皆と一緒に「清世界」か「カストリ」で「チク」と一パイやり、半分は自由労組野球チームの道具購入費用にしたいと思つている

（自由労組・長瀬）

湯本町税に異風景

記者は、内郷町の歸途、炭の日共追放如何なるかと思い八仙、淺貝方面へ趣いた、ところが長屋の間より、たゞならぬ音聲、メガホンの響きである、ソレツ、スワ、一大事、特種でもありやと素ツ飛んで行つて見たら一青年が湯本町税に對する達示をするかの如き風景であるこれはまた何事ならんと自轉車を傍らに置き群衆の一人となつて拜聽するに某氏大きなメガホンを片手に曰く、本日皆さんの家庭に税金の切符が配布されたでせう、十八%の課税率は十三%になるよう組合は會社に種々交渉中であり、また當局へも協議しているので決定次第通告致しますから其れまで納めないで下さい、（中略）ハテこれはしたり、如何なる名案があるのか十八%が十三%になるとしたら炭礦だけではありますまいから町内も同じ事であろうと思われるともかく十八%が十三%となれば税金が安くなつて結構なことだ

其れで湯本町が美化され發展すると假定したら尚更有難いことだが（第一期分）の期日は十月三十日限りとある、あと幾日もないのに交渉したら十八%が十三%になるから待つて居ろと云うサテ町議會は何パーセントに決定したか、これは傍聽者諸君がよく知り町民各位も知り過ぎてゐる、今や大事な死活にかゝわる税金問題が十八%か十三%か公約を實行するのかしないのかという瀬戸際だ此の演說を聞き終つた時、何かしら背筋がヒヤリとした

湯本支局通信

四倉中学で運動場新設

四倉町中學校のグラウンド開きは二十日午前十時から新設のグランで開催、種々の競技を盛大に行つた

猪俣校長死去

猪俣金五郎氏（湯本高校長）は十九日午前六時頃平市旧城跡の自宅に於てワイルス病で死去、四十七歳告別式は二十日一時より自宅で執行した

小名濱に腸チフス發生

小名浜町古湊根本繁美氏長男洋一さん（九）は十二日に發病醫師の診察を受けた結果、二十日腸チフスと決定直ちに隔離した

19日

天氣豫報

【本日】始めは北寄りの風曇りで時々小雨がありますが次第に北西の風強まり天氣は恢復しよう

【海上】東方沖合を北上する颱風の爲ウネリが出るが只今のところ、陸地に接近しそうにないので沿岸は時化る見込みだが今後の氣象通報に注意を要す

【小名浜青果市場】

丸大根	一〇—一八圓
葱	四〇—四五圓
長大根	八十—一一圓
へらな	一〇—一九圓
人參	六七—九〇圓
さつま	二五—三〇圓
白菜	二五—三六圓
無果花	一五〇圓
柿（一箱）	六三〇圓
みかん（一箱）	四五〇—五八〇圓
みようが	一二〇圓

（小名浜魚市場）

きんとう	三五〇圓
あじ	八〇〇圓
またこ	一八〇〇圓
まこえび	二〇〇〇圓
さば	六〇〇〇圓
さけ七〇〇—七八〇〇圓	一五五圓
そーだ	二五〇圓

女三四郎

スタッフ

原作　小山内雅雄　脚色・監督　渡邊邦男

キャスト

竹島昌子　川路龍子
新倉　灰田勝彦
黒川八段　廣瀬恒美
醫師　高堂國典

【解說】男裝の麗人、柔道三段の歌劇スタアを中心に弱き者を喰いつぶす街のボスとその手先に使われ良心に目覺めるやくざの哀愁と戀を描く華麗な活劇ものである。原作は小山内雅雄、監督は渡邊邦男、主演には松竹少女歌劇のNO・1、川路龍子と灰田勝彦の初顔合せで、助演者には村上冬樹、小杉義男、廣瀬恒美の他、新人隅田惠子、岡部正、塩澤登代路の新登場である。

★二十日より二十二日迄

二本立特別興行 磐城座

スタッフ

製作　マキノ眞三・原案　長谷川町子

キャスト

サザエさん　東屋トン子
劇團支配人　藤間林太郎
肉屋さん　楠木繁夫
煙草屋さん　松平晃
マダム　澤蘭子
富子さん　服部富子
劇團幹部　オリエ津坂
宮城野千鶴　宮城千賀子

サザエさんののど自慢

【解說】女流漫画家として人氣ある長谷川町子の代表作を映畫化したもの。主演の、サザエさんに扮する俳優の選定には尤も苦心が拂われたが、漫畫のサザエさんに最も酷似した東屋トン子を得て漫畫の映畫化たる雰圍氣描出に成功しているそして、楠木繁夫、松平晃、服部富子、オリエ津坂、宮城千賀子の花形、流行歌手の出演。これに依つて題名にふさわしい音樂的な愉しい雰圍氣を盛り、加えてこれに、本道であるギャグを間斷なく織り交ぜて、聞いて愉しく、觀て面白い、一家團らん向のもの。